

# 令和 3(2021)年度 事業計画書

自 令和 3 年 4 月 1 日  
至 令和 4 年 3 月 31 日

公益財団法人 九州盲導犬協会

令和 3(2021)年度 事業計画書  
(令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

ウイズコロナの時代、創意工夫を以って本年度事業を遂行する。

1. 盲導犬育成事業

(1) 視覚障がい者に対する歩行指導及び盲導犬貸与

今年度は8頭の盲導犬を視覚障がい者へ貸与する。

・代替者 5 名・新規ユーザー 3 名を計画

(2) 盲導犬ユーザーに対するフォローアップ (FU)

今期の定期 FU は電話・メールを中心に、ユーザー一人一人とコミュニケーションをとりながら、課題に対してその解決を図っていく。コロナの収束状況にもよるが、必要に応じて直接訪問を行い、ユーザーの歩行の安全確保とユーザーの生活をサポートする。

(3) 犬の飼育および訓練

① 繁殖

計画的な繁殖・出産により子犬目標 30 頭を確保する。また AGBN (Asia Guide Dogs Breeding Network) 加盟協会と引き続き連携し、質の良い繁殖犬の確保に努める。

② パピーウォーキング

例年通りの飼育講習会及び巡回指導に替えて、委託パピーウォーカー宛に指導動画のビデオを配信して、子犬の健康管理とパピーウォーカーに対する飼育指導を行い所期の目的を達成する。

③ 候補犬の訓練

犬の稟性評価・健康評価を適正に行い、候補犬の訓練を実施する。

④ 盲導犬の健康管理

フォローアップおよび盲導犬 7 歳時検診などを通して盲導犬の健康状態の把握に努め、ユーザーが安心して盲導犬を使用できるよう健康管理指導を引き続き実施する。

⑤ 繁殖犬・リタイア犬等のケア

飼育ボランティアおよび獣医師と連携しながら、それぞれの犬の健康管理に努める。

⑥ 犬舎管理

犬舎担当職員・訓練士が連携して、犬舎の衛生管理および訓練犬の健康管理体制を継続して実施する。

(4) 訓練担当職員の育成と採用

① 職員の育成

知識・技術の向上を目的に、全国盲導犬施設連合会 (以下「連合会」という。) が主催する盲導犬ジャパンセミナー及び各種研修会に職員を派遣するとともに、自己研鑽を奨励する。

② 盲導犬歩行指導員の養成

連合会が実施する盲導犬歩行指導員資格認定試験に 1 名推薦できるよう指導育成する。

③ 職員の採用

盲導犬訓練研修生を 3 名新規採用し、盲導犬訓練士として養成する。

## 2. 普及啓発事業

### (1) 総合訓練センターにおける啓発活動

- ① 前期見送った盲導犬慰霊祭を令和3年4月に実施する。
- ② 今期の一般見学会（毎月1回）及び団体見学会は、コロナ感染症対策を行って実行し、一般社会に対して盲導犬および補助犬法について正しい情報・知識を提供する。
- ③ 前年度見合わせた短期間の盲導犬宿泊体験希望者の募集を再開し、体験歩行会を行うなど盲導犬の普及啓発に努める。

### (2) 盲導犬普及啓発街頭活動

商業施設・交通事業者・各地区の国際ライオンズクラブ及び地域の団体等が主催する普及啓発イベント及び募金活動に積極的に参加して、補助犬の受入れに対する理解を深める。

### (3) 講演・実演・体験歩行会の実施

令和2年度ほとんど実行できなかった小中学校における盲導犬総合学習の講師派遣に替えて、ビデオ動画を配信、盲導犬と視覚障がいについて、正しい情報・知識を提供する。

### (4) 広報活動

ホームページおよび協会報「ハーネス九州」を年2回発行する等、補助犬に関する情報の発信に努める。

## 3. 関係団体協力事業

- (1) 九州盲導犬友の会ユーザーとの協力及び連携を深め、協会事業の発展を図る。
- (2) 全国盲導犬施設連合会、日本盲人社会福祉施設協議会、県市社会福祉協議会等関係団体と協力し、福祉事業としての一層の発展充実をはかる。

## 4. 苦情・相談

- (1) 行政・関連団体と連携を取りながら、盲導犬使用者・ボランティア・一般市民からの相談や苦情に迅速に対応する。

## 5. 管理部門

### (1) 財政基盤の安定

- ① 賛助会員への新規加入の働きかけを行うとともに、会員・寄附支援者に協会報等を通して協会事業の理解と継続的支援をお願いする。
- ② 盲導犬募金箱の新規設置先の開拓を行うとともに、既設置先へ継続的な支援をお願いする。